

# パワーハラスメント調査特別委員会調査報告

## 調査概要

令和3年度予算案の内示直後のタイミングに議員が財政部署を訪問し、内示予算案の調整要求に関わる行為の問題はないか事実関係を明らかにするため、関係者から証言を聴き取り、委員で協議しました。

## 調査結果

最初に、関係者10名からの聴取では、議員の行為は不当要求でパワーハラスメントに当たるとい証言と、威圧的な態度はなく、必要の説明があったのみでパワーハラスメントであるとの認識がなかったとの証言に分かれました。

次に、議員の行為が、

国が示す「職場におけるパワーハラスメント」の定義（①優越的関係を背景とした言動である、②業務の適正な範囲を超えて行われる、③就業環境を害する）の全てに該当するかを委員で協議した結果、議員の行為は威圧的な態度はなくとも、優越的立場にあり、定義に該当するとの意見と、双方に優越的な関係はなく、当事者の証言を踏まえれば定義に該当しないとの意見に分かれました。

最終的に、今回の行為は、他意が無くとも要求と受け止められる行為であり、本委員会は一連の行動から当該議員の行為はパワーハラスメントがあったと結論づけました。

と結論づけました。

## 議決結果

9月17日の本会議において委員会の調査報告書は否決されました。

## 今後は

議員は、市民の負託を受け、意見や要望を市政に届け、課題や問題を指摘し、解決を促すとともに、市の進むべき方向性を指し示す役割を担う中、不当要求行為やハラスメント行為は決してあつてはならず、また、そのような疑いを持たれないようにすることが基本です。

議員も市職員もそれぞれの立場で規定・ルールやモラルを遵守して、市政発展、市民の幸せのため、職務に努めることが肝要です。

## 請願・陳情

不採択となりました

- 「学校給食の無償化」に関する請願

新たに受理し、継続審査となりました

- 日米地位協定の抜本的見直しに関する請願

## 意見書を提出しました

- ①コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書
- ②2021年産米の米価下落の対策を求める意見書（※②は県や市に対し、要望書も提出しています）

## 総務文教常任委員会 所管事務調査報告

- コロナ禍における避難所の開設方法と備蓄品の保管状況について（こまかいどーむと旧地域包括支援センターを現地視察）  
⇒ 備蓄品が不足すれば避難所へ配送することになるので、緊急時には対応できるように、また携帯電話などの充電や、自動販売機の更新時は災害救援用にするなど、避難所の電源事情も考慮するようにしてほしいと意見集約しました。

## 編集後記

市民の皆様から感染拡大防止と経済活動の両立に対する要望を頂いています。米価が過去最大の下げ幅となり、市議会では国に対し対策を求める意見書を提出いたしました。

新型コロナウイルスのワクチン接種は進んでいます。これにより市民の皆様が少しでも日常を取り戻すとともに、少しでも明るい希望が持てることを期待しています。市議会は、市民の皆様が一日も早く安心できるよう執行機関と力を合わせ取り組んでまいります。

（文責 山田 洋子）

議会だより編集委員会

- 委員長 櫻田百合子
- 副委員長 齊藤 重美
- 委員 笹淵 峰尚
- 山田 洋子
- 今泉 信明
- 中尾 利香
- 久慈 年和
- 江渡 信貴

## 令和3年第4回定例会の開催予定

- 11月30日(火) 本会議（開会）
- 12月9日(木)、10日(金)、13日(月) 一般質問
- 12月15日(水) 本会議（閉会）

※会議の開始はいずれも午前10時からです。  
※各常任委員会の開催予定日は未定です。  
※日程は変更になる場合があります。